

# 提 言 理 由 ・ 説 明 書

薩摩川内市女性 5 0 人委員会

平成 2 0 年 9 月

# 目 次

## 1 提 言 理 由 等

|               |               |
|---------------|---------------|
| ( 1 ) 生活環境分科会 | ・ ・ ・ ・ ・ 1   |
| ( 2 ) 保健福祉分科会 | ・ ・ ・ ・ ・ 7   |
| ( 3 ) 産業經濟分科会 | ・ ・ ・ ・ ・ 1 3 |
| ( 4 ) 教育文化分科会 | ・ ・ ・ ・ ・ 2 0 |
| ( 5 ) 共通事項    | ・ ・ ・ ・ ・ 2 6 |

## 薩摩川内市女性 50 人委員会 生活環境分科会

### テーマ：「市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくり」

生活環境分科会では、テーマを「市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくり」に決めて、身近で自分たちの手の届くところから、問題を見つけ出し、検討をすることにしました。

まず、前期の提言内容事項を確認することからはじめました。前期の成果を踏まえて、新しく提言の項目を 5 つにまとめてみました。

#### 1．環境対策の充実

- ・原子力は一番心配なイメージを受けましたので、施設見学をし、自分達目で安心・安全を確認することにしました。

確認する中で、自衛消防の設置・地震対策など、私たちが疑問に思っていた問題を企業側より説明していただきました。自衛消防隊の新設と訓練等の新聞報道は更に安心の材料になりました。

#### 2．ゴミ処理の充実と資源の活用

- ・前期の提言と同様、今回の提言でも取り上げました。特に今回は洞爺湖サミットで環境問題 C O<sub>2</sub> 削減が重要課題であり、私たちにできることから、次の 2 つを選び

- ・リユースの活用

3 R のうち R E U S E (再使用)・R E D U C E (排出規制)・R E C Y C L E (再生利用)

- ・マイバッグの浸透

を提言することにしました。

#### 3．下水道・生活排水処理対策の推進

- ・旧川内市は下水道工事が進んでおり、問題提起しませんでした。甕島では下水道はないものの浄化槽での処理が充実していました。しかし、甕島の水不足は、気にかかりました。

- ・管理型最終処分場施設問題は今、地元の説明の段階であり、現時点で私たちが問題にすることは控えたいと考えました。

#### 4．蘭牟田池の環境保全

- ・電源地域振興指導事業の 1 つ、マーケティング支援プログラムの「観光現地指導会」(蘭牟田池を語ろう会)に聴講生として参加し、ラムサール条約の指定を受けた蘭牟田池周辺には、ベッコウトンボ・生態系アクアタイム館の展示・観光猪鹿鳥の料理(昔ながらの網を使つての鴨猟)・周辺の山登り・民話等を生かす方策等が沢山あることから提言をすることにしました。

5. 緑の基本計画の検討を行い、まだまだメインロードや住宅地に花や緑が少ないことがわかりましたので、提言することにしました。

以上の構想で下記の通り、提言いたします。

#### < 提言 >

##### 河川・海岸の清掃の支援

#### 1 ボランティアで海岸や川内川流域の岸辺を清掃したゴミの回収と定期的に業者やNPO法人に清掃を委託する。

##### ● 提言理由・説明

・ 甕島周辺や唐浜海岸また川内川下流域の岸辺に漂着物が多く、地域の住民やボランティア団体で時々清掃にあたるが、かなりの量である。民間業者なり、NPO法人等に委託して、定期的に行えばより美しさを保てる。

・ 農道沿いや地域の河川では、愛護週間があって年に何回か清掃作業がある。しかし、雑草の繁茂がひどくおまけに作業者が高齢化等で思うように行き届いていない。

・ 「水のまち薩摩川内」宣言都市である。

##### 市民ができること

・ 現存の美化推進委員の中に「水辺のパトロール隊」(仮称)を設けて定期的に活動してもらう。

・ 川や海の釣り客のマナー遵守を徹底し、釣り場のゴミ拾いをしてもらう。

##### ゴミ処理の充実と資源の活用

#### 1 リユース制度の創設

**ア** 生活用品の再使用をいっそう図るために家具や台所等の不要品の中で資源活用できるものを1カ所(例：リサイクルセンターの1部でも可)に集めて市民の中から希望者に再利用してもらうよう働きかける。(例：子供机 タンス)

##### ● 提言理由・説明

・ リユースの精神(もったいない)を市民に理解してほしい。

##### 市民ができること

・ 市の呼びかけに応じて再使用可能のものを家庭内で再分別し、市のリユースセンター(仮称)へ運ぶ。

#### 2 マイバッグ利用の促進

**ア** 買う側・売る側双方の意識を高め、参加する市民の自覚を促したい。商店とタイアップして利用者に還元する制度(ポイント制度等)を取り入れる。

**イ** マイバッグ利用の促進の啓発ポスターを作って、掲示する。

●提言理由・説明

・レジ袋の原料は原油から生産し、使い終わったレジ袋はゴミと化しCO<sub>2</sub>の大量排出の原因になっている。

・温暖化が叫ばれ、地球のあちこちで異変が起きている現状を考え、私たちにすぐにでも取り組めることの一つにマイバッグの使用がある。私たち市民が自分の袋を1つ持つだけで環境対策に参加することになる。意識向上のためのポスターを店内や公共建物内に展示したらよい。

市民ができること

- ・常々マイバッグを持ち、レジ袋の減少に努める。
- ・自分だけでなく、周りの市民にもマイバッグ持参を呼びかける。
- ・ポスター制作を市民に呼びかける。

### アイドリング規制制度の制定

#### 1 市営バス・公用車をはじめとするアイドリングの規制，市営バスアイドリングストップの実施をする。

●提言理由・説明

一人一人の市民の努力でCO<sub>2</sub>を減らすことが地球温暖化防止に貢献すること、併せて、周辺の人に騒音の迷惑防止や資源の無駄使いを減らすことになるということを啓発したい。

なお、西鉄バス・北九州市ですでに実施済である。

市民ができること

駐車している時はエンジンを切る。バス・市民の自家用車・企業社有車も協力してアイドリングストップをする。

### 太陽光発電システムの導入拡大

#### 1 クリーンエネルギーの一つ，太陽光発電導入件数の増加を図るために市で普及促進のための独自助成を行う。

●提言理由・説明

・九州は、全国的にも住宅用太陽光発電システムの導入が多く、鹿児島県は、2007年度4位（8県中）870件で、国の補助があった2005年度を最高に以後減少気味である。そこで自治体独自に支援策を設ける例が九州沖縄に広がっている。

・金額は大津町（熊本）の最高10万円、那覇市の6万円、北九州市、天草市5万円などであり、上限を安く、件数を増やし、地球の温暖化ガス排出量を削減するねらいを全面に自治体が打ち出している点が特色といえる。

・市でも、温暖化ガス排出量削減に向けての姿勢を積極的に示す上でも助成制度を設けたらどうか。

・洞爺湖サミットが 7 月 7 日から始まったが、その最重要課題に上げられているのが、地球温暖化対策です。

・本市には、太陽光発電に関わる企業もあり、住宅用は勿論のこと、産業・公共部門での設置拡大がクリーンエネルギー利用として検討されるべき時が今ここにきている。(ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は石油火力の 1/4 分の 1)

市民ができること

- ・年間の消費電力と電気料金の計算(1～4キロワット)をする。
- ・システム導入(価格は68万円前後)の準備

## 蘭牟田池の環境保全

### 1 全国トンボサミット

**ア ラムサール条約内容や価値の大きさを住民へ周知し、H23年「全国トンボサミット」開催地誘致に尽力し、行政も協力及び援助をする。**

●提言理由・説明

・全国トンボサミットとは、地域・行政・学会が一体となった大きな企画であることから、市を挙げての取り組みを早くから実現できたらよいと思う。(ラムサール条約は、3年毎に見直されるので重要である。)

市民ができること

- ・全国トンボサミットの開催が決まったら、市民総出で参加協力する。

### 2 アクアタイム館の整備、生態系アクアタイム展示内容、運営の充実

**ア 観光と環境の拠点になるような展示内容にする。**

**イ 外国からも来場者がみえるので3カ国語位の案内板を作成する。**

**ウ アクアタイムの案内人に学芸員の勤務(週2日程度)をお願いする。**

●提言理由・説明

・蘭牟田池では、ベッコウトンボ・H23年「トンボサミット」・ラムサール条約など生態系アクアタイム館の果たす役割が大きいので、整備の必要がある。

市民ができること

- ・市民の発想や意見を事前に届ける。
- ・企画から関わり、参観も進んでする。

### 3 登山・散策コースの整備

**ア 山に登ったりするとき、山の魅力をもっとうたった標識・案内板を設置する。**

**イ その際、外国人の参加も想定した案内板の設置をする。**

●提言理由・説明

・蘭牟田池の登山愛好者からの感想によると池の周辺の山は「散策コースや難コー

ス及び岩山コース等もあり，各箇所では休息がとれ，四季の花も咲きほころび，変化にとんだ景観のすばらしい場所である。」せっかくの賞讃の声を生かすように整備がすぐ必要だと考えたから。

市民ができること

- ・地域が中心になって，案内板を作成し，蘭牟田池の周知に協力する。
- ・ベッコウトンボだけでなく，蘭牟田池の周辺の魅力的な登山や「鴨猟」のことなど山の素晴らしさを前面に押し出す観光資源の開発に努める。

#### 4 清掃と湧水期対策

##### ア 池周辺の清掃への参加と湧水期の対策をする。

###### ●提言理由・説明

- ・ベッコウトンボが生きるための環境保全にも地域と行政の厳しい目で見張ってほしい。
- ・湧水期の湿地を守るため，葦を枯らさないように水量の確保，水質保全に努める。
- ・ヤゴを守るために，外来生物（ブラックバス等）を駆除する。

市民ができること

清掃の呼びかけに協力する。

地元の「守る会」市民が蘭牟田池をもっとよく知るために努力する。

##### 「グリーン作戦」の日の制定

- 1 「クリーン作戦」にあやかって，第3日曜日（家庭の日とあわせて）を「グリーン作戦」の日とし，全市一斉に，緑を守り，緑を育てる日に制定する。併せて，近所の環境美化にも取り組む。

###### ●提言理由・説明

・持ち主より放置されて荒れ放題になっている空き家の取り壊し等に対する市の対策はないものか。暴風雨時に周囲へ危険を及ぼしかねない現状である。（甕島地区ほか）

・薩摩川内市の花「カノコユリ」のいっそうの周知を図るため，球根の栽培と頒布，そして，市民が沢山集う場所に機会をとらえて花の展示を行ってほしい。

・空き地や空き家の管理は，地主や持ち主がするのが当然だが，近年高齢者（後期）の独り暮らしや都市への引き揚げによる空き家の増加が近所に目立つようになった。一般道路まで伸びてきた雑草の生い茂る荒れた庭や，瓦がずり落ちそうな家があると迷惑であるし，危険である。

そこで，花や緑が豊かで，「誰もが安心して快適に暮らせるまちづくり」のために市や市民ができることとはないかを考えた。

市民ができること

- ・「グリーン作戦」に積極的に参加する。
- ・自分の家の花の手入れ，地域へのボランティア美化活動
- ・市の花（甕島自生）カノコユリの球根や花の栽培方法を学び，育てる。

街に緑を増やそう

**1 広い歩道・公園には台風に強い木を植え，新設団地・道路にも市木（クロガネモチ）を中心に植える。**

●提言理由・説明

- ・植える際は，なるべく落葉樹でないもの。
- ・南の強い日差しを遮る役目と木陰の役目をし，目にも優しい町になる。
- ・緑化はCO<sub>2</sub>を減らし，環境にもよい。
- ・殺風景な町の玄関及び町の中に緑の潤いが必要である。

市民ができること

- ・植栽の木や花の維持管理に努める。

## 薩摩川内市女性50人委員会 保健福祉分科会

### テーマ：「健やかで笑顔輝くまちづくり」

～子育て、少子・高齢化、障害者へのあたたかいまなざしを育んでいくための提言～

保健福祉分科会では、提言を行うにあたって平成19年度版の“薩摩川内市地域福祉計画の基本理念”を参考にしながら限られた時間の中でそれぞれの委員が真剣に女性の観点から見直すべき課題をいろいろ討議してまいりました。

その中には、福祉アドバイザーの問題や福祉サービスの地域格差の問題等提言にまでこぎつけられなかったものもありましたが、今回は甑島研修という大きな機会も作っていたき薩摩川内市民がひとつになったような気がして感謝しております。

このような貴重な研修の経験も生かされた提言が1日も早く実現できますよう私達も一市民としてできることは協力していきますのでどうぞ宜しくお願いします。

#### < 提言 >

##### 高齢者福祉について

##### 1 高齢者おでかけ支援事業について

**ア 助成券の利用を現行の運賃・入浴料に限定せず、柔軟な運用を考えるべきである。**

###### ● 提言理由・説明

19年度市単独事業としての助成券発行率は、本土47%、甑地区68%である。  
(70歳以上人口比)利用枚数も多く当初予算を上回っており好評と思われる。さらに各高齢者・地域の実情に即した利用の幅があれば個人差・地域差ももっと解消されるであろう。現行では寝たきり高齢者等は、使えないという不公平がある。

##### **イ 同事業の広報を促進する。**

###### ● 提言理由・説明

実績額が、当初予算を上回ったが、さらに柔軟な運用の広報を促すことにより、薩摩川内市の福祉への取り組みのアピールにもなる。

市民ができること

高齢者が事業を周知するためには、民生委員・在宅福祉アドバイザー・市民が広報・伝達する。

##### 2 3世代交流事業について

**ア 廃校になった学校や幼稚園等の他、殆んど使用されない集会所などを無償か低額でボランティア団体やサークル等に提供し、3世代交流事業を推進することを支援す**

る。

- 提言理由・説明

核家族世帯，独居世帯，孤独死，虐待等，孤立しやすい現代において，３世代で交流できる機会を作ることは大切であるが，それを実践する適当な場所が少ない。

市民ができること

地区コミュニティとボランティアが社会福祉協議会と協力して，３世代がふれ合う機会を積極的につくる。（３世代がいっしょに参加するイベント等の計画をたてる。）

## 児童福祉について

### 1 乳幼児健診について

#### ア 乳幼児健診は，地域の保健センターで実施する。

- 提言理由・説明

平成２０年度より乳幼児健診は，川内・東郷地域は川内保健センターで，樋脇・入来・祁答院は樋脇保健センターで，甑地区も２ヵ所で開催されている。しかし，従来どおり小児科医等と保健師が地域の保健センターに出向き，各地域において実施する。

各地域での健診では，同地域の母親同士の交流が深まり，育児期の孤立を防げるなど，育児支援の一助ともなる。

保育園等への送迎（健診時間だけの引き取り）も効率がよい。

市民ができること

乳幼児健診の重要さの広報・伝達

### 2 インフルエンザワクチン接種の補助について

#### ア 将来の夢に向かって大きな挑戦をする中学３年生，高校３年生に対して，インフルエンザの予防接種の助成をする。

- 提言理由・説明

現在，中学生，高校生を対象とする制度がない。将来に夢を持って挑戦する若者達の貴重な受験期（進学，就職）を万全の体調で乗り切りたいのが親の切なる願いである。２回接種が望ましいとされる予防接種の助成があれば大きな支援となる。

市民ができること

利用の広報・伝達，積極的な接種への参加

### 3 未就園児子育て期の保護者の社会参加と健康増進について

**ア 文化ホール，公民館，博物館，図書館，体育館といった社会教育施設等に託児スペースを設け，託児要員を配置する。**

- 提言理由・説明

当市においても核家族化が進んでおり，以前親や社会から受け継いだ育児の知識や技術は保護者自ら学習する時代である。

この時期を「再就職のための準備期間」と位置づけ，社会参加を続け，資格取得のための学習をする保護者もいる。

また，スポーツ等をする機会が減り，体力が急激に低下する時期でもある。このような理由から未就園児子育て期の保護者の活動・健康維持活動を市としても保障する必要がある。

実施に際し，各施設に市民の保育ボランティアを募り，その方々の入館料や利用料を優遇することはできないか。

### 4 ファミリーサポートセンター事業について

**ア ファミリーサポートセンターの利用料の一部を市で負担する。又は，月に2，3時間程度の利用無料券を配付する。**

- 提言理由・説明

平成17年度より開始されているファミリーサポートセンター事業は，活動件数も平成18年度524件だったのが，19年度は1838件と飛躍的に活動を増やし実績をあげている。このうち援助内容は，短時間で終了し，料金が低額ですむ「送迎」が全体の半分を占め，長時間・高額になりやすい「託児」が少ない。これは決して託児のニーズがないわけではなく，利用料が高額であることが考えられる。

そこで利用料を値下げし，その分を市の方で負担できないか。あるいは未就園児とその保護者を対象に月に2，3時間程度，利用無料券を配布できないか。

これらにより，子どもと保護者が離れる時間をつくり，相互の結びつきを確認することが，核家族の保護者のリフレッシュになる。月に数時間の託児による定期的な触れ合いが，「おじいちゃん・おばあちゃんと孫」のような親しい関係に発展する可能性がある。地域の共同体意識が薄れていく中，子どもを介しての地域住民のコミュニケーションになる。

**イ 現在，子育てに限定された支援内容を全ての福祉的なニーズに対応する。**

- 提言理由・説明

同事業の対象を拡大し，全ての福祉的なニーズに対応できるようにする。例えば，子どもの面倒を見てもらう代わりに買い物を代行する，病院に連れて行くといった相互援助が可能となる。この結果料金が帳消しなり，利用者の負担が軽くなる。

## 5 「育児支援ガイドブック」の作成と配布について

### ア 薩摩川内市の子育て情報を網羅し、利用者の目線に立った「育児支援ガイドブック」を作成し、配布する。

- 提言理由・説明

現在、子育て支援課で配布している「子育てパパ・ママ応援帳」は、子育て支援の政策が列記されているだけで、利用希望者が自分の目的に合った支援内容を探す仕様にはなっていない。例えば、子どもを一時的に預けたい場合、夜間に預けたい、病児を預けたい、事前登録が必要か否か等、利用者のニーズにあった形で逆引きできるような索引が必要だろう。

また、自宅に近い施設を探すため、各施設の場所が一覧できるような地図や、各保育所の保育方針や質についても、事前に知っておきたい情報だろう。

他にも民間の育児サークルや「かごしま子育て支援パスポート事業」実施店など、子育てに役立つ、本市の情報を全て掲載した「育児支援ガイドブック」を作成し、配布できないか。

ガイドブック作成に際しては、ボランティアを募り、利用者の目線で情報収集や編集に携わってもらう。

## 6 父子手当支給事業について

### ア 父子手当支給事業と児童扶養手当支給事業の支給金額や条件を同じにする。

- 提言理由・説明

離婚等で父子家庭となり、児童を養育する場合、夜間の就業や残業が出来ないなど労働時間等に制約される事もあり、収入面でも制約されている。又、母子家庭は月額9,850円～41,720円の手当を支給されているのに対し、父子家庭は年額24,000円（月あたり2,000円）しか支給されていないのが現状である。父子家庭でも安心して養育できるように是正が必要である。

市民ができること

地域で父子家庭の子育てを見守り、サポートしていく。雇用主は、父子家庭の父親に対し、夜間の就業や残業を強要しない。

## 障害者福祉（安全・安心で快適なまちづくりの推進）について

### 1 障害体験プログラムの導入について

#### ア 小・中・高・大学・地域での学習の場に障害体験プログラムを導入する。

- 提言理由・説明

障害の理解は、知識の普及だけでは困難である。障害を持つ人達への声かけや手伝い等、何が必要なのか、実話や体験を通して障害の特性に気づき、わかりあう必要がある。同じ社会に住んでいる事を認め合うきっかけになる。

市民ができること

地域に住む障害者にリーダーになってもらう。

## 2 障害の特性に配慮した公文書作成について

**ア 各障害者団体と連携をとり，わかりやすい文書の作成や簡単に記入できる書類の作成をする。**

- 提言理由・説明

障害があっても工夫があれば，人の援助なく生活ができる。高齢になれば，誰もが耳や目や体に支障をきたす。障害者に優しい工夫は，健常者にも必要である。現状は，文章理解の為にガイドヘルパー（有料）や手話通訳が必要である。

## 3 各施設への補助犬（盲導犬，介助犬，聴導犬）の受け入れについて

**ア ステッカーを貼るなどして，補助犬の受け入れの可・否を目に見える形にする。もしくは，補助犬を連れている人を見かけたら本人への声かけができる人材の育成をする。**

- 提言理由・説明

補助犬は，障害者の生活にはかせないもので，常に行動を共にする必要がある。知識の普及は進んでいるが，受け入れの意思表示ができていない現状がある。ステッカー等，目に見える形で受け入れを示してであると安心して利用できる。又，積極的な声かけで不安をなくすることができる。

市民ができること

障害者への情報提供

## 甌島や農村地域の活性化について

### 1 母子家庭や父子家庭の自立支援について

**ア 離島（甌島）や過疎地域の空き家等をリフォームし，母子家庭や父子家庭に低額が無償での居住を促進し，仕事を斡旋・助言する。**

- 提言理由・説明

離島（甌島）や過疎地域においては，働く場がなく，働き手もないということが少子高齢化に歯止めがかからない要因となっている。そこに市外あるいは県外から母子家庭や父子家庭を受け入れることにより，地域の活性化が進められ，少子高齢化にも歯止めがかかることになる。

離島や過疎地域は，何より自然が豊かで子供の安全，環境には最適の地である。登校拒否，DV等の心の病にかかっている母子や父子家庭等，子どもとふれあう機会の少ない家庭にとっては，癒しの地でもある。

お互い求めるものが共通であるということが大事である。

#### 市民ができること

郷土料理の作り方や魚の釣り方やさばき方等を教えながらコミュニケーションを図る。

父子家庭等，父親が仕事に出ている間は地域ぐるみで子どもを見守る。

茶話会や飲み会等を計画し，心の悩みを開くとともに，社会福祉協議会や行政とのパイプ役をする。

## 薩摩川内市 50 人委員会 産業経済分科会

テーマ：「地域の特性を生かし，産業・経済活力を創造するまちづくり」  
～地域を知り，活かし，アピールしよう！～

私達産業経済分科会では，我が街薩摩川内市をもっと県内外に知ってもらい，人の集まる街にしたいとの願いから，まず自らが「地域を知り，活かし，アピールしよう！」をテーマに，この１年半の間話し合いを重ねてまいりました。分科会の委員は１０名と少人数ではありましたが，薩摩川内市を思う気持ちは日々高まって数多くの意見が飛び交い，楽しく会を進めることができたと思います。

会を重ね，観光・イベント統廃合・３号線沿いの商店街の活性化・特産品・情報発信など様々な角度から検討を重ねてまいりました。

まず，観光の面から２回の視察研修を実施しました。薩摩川内市の歴史や史跡に触れることで改めて全員が感激を覚え，この素晴らしい素材を利用しない手はないと感じたところです。市の発展を考えた時，今あるものにどのような付加価値を付けるかでもっともって可能性があると考えます。

そして，点在するイベントを整理し，統合廃止をする必要性を感じております。

また，市街地，特に３号線沿いの商店街を見渡した時のシャッターの降りた姿が目につきます。この件も提言で取り上げました。

さらに，今，食品の安全性が問われる時こそ，農産物・特産品を売り出すチャンスではないかと考えます。現在の加工施設等の見直しも必要と感じます。薩摩川内市をもっと発展させる為には，多岐に渡る人材育成，ひいては宣伝部隊（アピール隊）等も必要と考え，産業経済分科会では次のことを提言いたします。

### < 提言 >

#### イベントの統廃合

1 地域活性化と経済効果を出すためには，現在各地で開催されている地域のイベントを統廃合してとりまとめを行う。

##### ● 提言理由・説明

似たようなイベントが点在する上に，各地で同日にイベントの開催があるなどして，運営委員・参加人員確保が厳しい現状である。一過性のイベントが実施されるなど，消化するためのイベントが多いように思われる。イベントを整理し，廃止・統合の検討をする必要があると考える。また，従来のやり方を変え，「産業祭」のように各地持ち回りで運営・開催すれば，薩摩川内市のまとまりも出てくると思われる。

市民ができること

各地でのイベントを廃止することに対し，市民は理解を示し譲歩する。

持ち回り運営に協力する。

イベント実施に付随するバス・昼食代の一部負担。

## 観光

### 1 観光協会やまちづくり公社など（観光事業に協力する団体）へのアドバイス・助成金内容を検討する。

- 提言理由・説明

観光協会やまちづくり公社への適切なアドバイスを実施することに加え，助成金内容を検討することにより，知恵を出し合い活気あるまちづくり活動に取り組めると考える。

### 2 観光素材の研究と歴史の語り部などを育成し，個人の優れた能力を登録する「観光人材バンク」を設置する。

- 提言理由・説明

薩摩川内市には，歴史を掘り下げると観光資源として有効活用できるものが数多くある。例えば，「泰平寺」は豊臣秀吉の本陣跡ということで有名であり，他の土地での歴史とリンクするエピソードも残している。歴史的に評価の高い史跡や後世に広く伝承すべき歴史文化財などを観光資源とし，地域活性化として大いに活用しなければ，もったいないものである。時代の生き証人や歴史の継承者などによる歴史の説明は，文章や映像での説明とはまた一味違う趣がある。いざ何かをする時に，どこに・誰に依頼すればいいのか分からず，後々になってあの人に言えば良かったのに・・・ということがある。まずは，個人の得意分野・活動可能内容・時期など詳細事項を登録するシステムを構築して活用すれば，個人の能力も一つの観光資源として活かすことが出来ると考える。

市民ができること

人材推薦と人材の登録

### 3 充実したPRの展開を図る。

- 提言理由・説明

薩摩川内市には歴史を掘り下げると観光資源として有効活用できるものが数多くある。例えば，国指定重要無形文化財に指定された東郷町の人形浄瑠璃や樋脇町倉野の梵字など，歴史的に評価の高い史跡や後世に広く伝承すべき歴史文化財などを観光資源とし，地域活性化として大いに活用しなければ，もったいないものである。歴史にまつわるエピソードの組み立てや伝説化など，観光したくなるような充実し

たPRを実施し、指宿の「篤姫」観光の様に、観光客が押し寄せるまちづくりができると地域活性化と経済発展に繋がると考える。

#### 4 薩摩川内市アピール隊の設置をする。

- 提言理由・説明

平成16年10月に1市4町4村が合併した。合併して間が無い為、各地域の史跡・温泉・イベント・祭り・特産品等を市民が把握していないように思う。PR活動することにより、市民の見聞を広め、観光・商工業者の活動が活発になり地場産業が発展すると考える。

アピール隊とは、川内・東郷・樋脇・入来・祁答院・甕島より数名を選出し、2年任期で研修しながら各地域（48ヶ所コミュニティセンター）を回り交流を深めて、県内外および国内外へと広報活動を行うグループのことである。

市民ができること

拠点に情報提供、知り合いに広報・伝達

### 活気あるまちづくり

#### 1 商店街を利用してもらうために、既存の駐車場の位置表示等を徹底する。

- 提言理由・説明

活気ある薩摩川内市を誰しもが望んでいることであろうが、人口減少は進み商店街は閑散とする一方である。郊外の大型店舗には大型駐車場があり容易に駐車も出来、荷物を運ぶのに非常に便利である。

3号線沿いの商店街は「シャッター通り」と呼ばれるほどシャッターが降り、人の往来もまばらである。お店の商品数や値段・サービスなどの問題以前に、利用しやすい駐車場の整備が必要と考える。現在駐車場が点在しているのであれば、一目で分かる簡易地図等（看板、チラシ、市街地マップ、広報紙への掲載）があると利用しやすいと考える。

#### 2 空き店舗家賃補助事業の内容を再検討する。

- 提言理由・説明

3号線沿い空き店舗の家賃補助は2年を上限としていると聞く。店を開店させ2年で軌道に乗せることは非常に難しいと思うので、市民が利用しやすいように補助期間の見直しや支援内容を再検討すると利用しやすいと考える

#### 3 観光モニターツアーを実施する。

- 提言理由・説明

第三者による薩摩川内市の良い点・改善点の発掘をし、外からの意見を参考にす

る。新しいアイディアを得ることも出来、薩摩川内市の良さを再認識することも出来る。良い点をさらに伸ばすことで地域活性化に繋がると考える。

#### 4 第二のふるさとキャンペーンを展開する。

- 提言理由・説明

別荘地化・ホームステイ・農業体験・ファームステイ・学生のスポーツ合宿・キャンプなどの更なる誘致を行い、また、芝やトレーニングルームなどの施設を充実させ、国内だけに留まらず韓国を始めとするアジア諸国のスポーツ選手のキャンプ誘致を行う。

広大な土地・整備されたスポーツ施設・格安の宿泊施設・温泉など既存のものを活かした魅力あるキャンプ地を形成することにより、人が集まり、本市の良さを知ってもらい、利用者がたびたび訪れ、本市を第二のふるさとと思ってもらう。これを第二のふるさとキャンペーンとして実施するとまちが活性化され则认为る。

市民ができること

民宿・ステイ先・場所・空き家の提供、農業体験者受け入れ、学習会への参加。

#### 5 旅行会社のオプションツアー登録をする。

- 提言理由・説明

薩摩川内市の豊かな自然を大いに満喫していただくオプションツアーを旅行会社に登録し、第三者を通して、薩摩川内市の魅力を大いにPRしてもらう。プロの手に委ねることで一層充実したPR活動が期待出来る。川内大綱引き、川内川花火大会等のイベントや、魚釣り・ウミネコ餌付け・田植え・イチゴ狩り・みかん狩り・芋掘り・焼酎作り・たけのこ堀・歴史探訪など、自然を活かした上にエコも体験出来る。リーズナブルな旅を企画していただき、まちの活性化に繋がれると考える。

市民ができること

民宿・ステイ先・作業場所などの提供、農業体験者の受け入れ、受け入れに当たっての学習会への参加

#### 6 高速道路・新幹線全線開通により鹿児島市内への通勤の利便性を活かしたベッドタウンの造成をする。

- 提言理由・説明

既に新幹線が開通し、川内 - 鹿児島間の通勤をする人が増えている。十数分で鹿児島市内に到着するので非常に便利が良い。また、高速道路も薩摩川内都ICまで開通し利用客も増えている。鹿児島市内近郊に住宅を構えるより薩摩川内市に居住した方が、通勤時間の短縮・豊かな自然環境での子育てなど利点が多くベッドタウンとしては最適だと考える。現在も薩摩川内への転入者に対する支援策などはある

が、ベッドタウンとしてのハード面の整備・支援策のPRなど更なる魅力ある施策で人口増に繋がたいと考える。

#### 地域特産物の活用

### 1 休耕農地の有効利用の為に生産者募集及び生産者の育成と生産指導を行い、生産物により必要性があれば低金利の貸し付けを行う。

#### ● 提言理由・説明

外国産農産物の品質に対する疑問が広がる中、国産品へのニーズが高まっており、国産農産物への大きな期待が寄せられている。薩摩川内市においては、休耕農地が多く、また、自給自足程度の生産が多くの割合を占め、薩摩川内の特産品に繋げるまでにはいかない状況である。

とかく大量生産物はフードマイレージをかけ他県へ産出されることが多く、それは環境問題の一因にもなりかねない。環境に配慮することはもとより、地産地消の促進や特産品の販売をすることによって、生産意欲の向上や経済発展、就労人口の増加に繋がると考える。

市民ができること

各地の情報提供（休耕農地に関する情報、生産物の販売内容、場所、購入価格など）、地元で大量に農産物を生産し、それを特産品として加工し付加価値を付ける。

### 2 特産品の開発と情報発信をする。

#### ● 提言理由・説明

地産地消はもとより、薩摩川内のお土産は「これ！」とすぐ思い浮かぶような特産品を作り出し、特産品を大いに販売することによって、生産意欲の向上や経済発展、就労人口の増加に繋がると考える。

また、特産品の効果的な情報発信をすることにより情報の浸透が図られ、消費の拡大を促すことができる。

#### 地域特産品加工場の効率的活用

### 1 特産化を目指し生産加工活動をする市内に点在する加工場の効率的活用を進める。加工活動をする団体の活動状況を含め利用料金などを検討把握し、活動しやすいように活動支援及び指導を行う。

#### ● 提言理由・説明

地域で収穫されたものを特産品として加工して販売する活動は行われているが、加工場の利用に対する規制・制限が多く利用しにくい現状にある。利用者の声の収集を始めとする現状把握や活動に対する支援があると、生産活動も増大し、地域発展に繋がると考える。

市民ができること

特産品として全国への情報提供

## 人材育成

### 1 観光協会や商工観光に携わる人達へ指導する立場にある自治体自体の指導力強化及びリーダーシップの発揮をする。

- 提言理由・説明

日本各地にある観光客が絶えない観光名所には、必ずしも最新鋭の設備の完備、お手頃価格の設定がなされているわけではない。温かいおもてなしと、質の高いサービス、そして何よりも、また訪れたいと思わせる笑顔がある。薩摩川内市も観光名所として名を連ねられるよう、最も大事な人材育成に力を注ぐことを提案する。現在も既に研修参加などの実績はあると思うが、研修が活かされ、画期的な改革に繋がっているようには思えない。まずは、取りまとめとなる自治体・観光のメインとなる観光・商工業者に対し、実のある徹底した教育を実施し、自治体が率先して活動することが重要であると考え。

市民ができること

人材の情報提供・推薦・人選

### 2 観光・商工業者への接遇研修等を行い、人材育成に努める。

- 提言理由・説明

日本各地にある観光客が絶えない観光名所には、必ずしも最新鋭の設備の完備、お手頃価格の設定がなされているわけではない。温かいおもてなしと質の高いサービス、そして何よりも、また訪れたいと思わせる笑顔がある。薩摩川内市も観光名所として名を連ねられるよう、最も大事な人材育成に力を注ぐことを提案する。現在も既に研修参加などの実績はあると思うが、研修が活かされ画期的な改革に繋がっているようには思えない。定期的なコーチングやおもてなしマナー等講座受講、先進地の視察などを実施する。そして、受講・視察後の確実な振り返りと水平展開を図ると情報も多方面に行き渡り相乗効果を得られると考える。

## 情報共有

### 1 広告宣伝料で賄うフリーペーパーの作成をする。

- 提言理由・説明

各イベントは多いがPR不足により、情報伝達がうまく出来ていないと感じる。情報提供がうまくなされていないため、各地で同様のイベントが同時開催されることがある。そこで広報紙とは別に各種情報が集まり、かつ、掲載しやすい情報誌の作成を提言する。

広告料金を徴収の上，広告を掲載するなど情報誌構成の工夫などをすると情報伝達と広告収入の相乗効果が得られると考える。

ホットペッパーの川内版のような情報誌があると利用しやすいと考える。

## 2 情報発信基地の構築をする。

- 提言理由・説明

常に情報の送受信が出来る場所，例えば駅のコンコースやオープンスペースなどにカフェのようなものを設置することにより，集いやすく，情報送受信や意見交換の出来る場所が生まれる。人が集まる活気づいた場所になると考える。

市民ができること

情報提供，資料提供，スポンサー紹介，積極的参加

## 薩摩川内市女性 50 人委員会 教育文化分科会

### テーマ：「健全な地域社会を目指して」

#### ～子どもから高齢者まで～

私たちの分科会では、自治体を支え、その活性化の力の元となる地域の力に着目しました。地域力にはいくつかの要素が考えられますが、子どもから大人まで、市民を育てる力である教育力が欠かせません。その視点から、今回は、まず、幅広く不特定の市民に関わり、文化の中心とも言える図書館について提言を作成しました。次に、生涯学習の活性化の視点から、文化施設、また高齢者を含む活動についても取り上げました。

地域の宝とも言われる子どもと子育て環境について、学校との関係から当分科会で検討しました。幅広く市民の声を聞くために、市全域の小学校児童保護者を対象に「小学生の放課後の時間の使い方についての実態調査アンケート」を取ったところ、約 6 割の回答をいただきました。この集計作業と結果の考察を通して、子育て支援についての提言作成を行いました。

また、今の若者層や女性の将来的な更なる積極的な市政参画につながるための市民教育・啓発につながる方策も必要ではないかと考えました。

時間の都合上、上記のどの分野においても、協議や考察がし尽されておりません。今後一層、発展的に検討が続けられることを願ってやみません。

#### < 提言 >

##### 薩摩川内市立中央図書館について

#### 1 施設面の提言

##### ア 図書館 3 階の研修室の利用をもっと促進する。

###### ● 提言理由・説明

現在、せっかくある研修室はほとんど利用されていないようである。利用規約を見直したり、広報紙などを利用して、利用方法などの宣伝をもっとしたりして、活用すべきであろう。

##### イ 学習室が、公平に、かつきちんと利用されるように、利用のきまりや部屋・机等、定期的に、実態に合わせて見直す。

###### ● 提言理由・説明

時期や時間帯によって利用したくても利用できない人がいるようである。空いているとき、中央公民館研修室も併用するなど、既存施設の有効利用を図るなどできないか。

**ウ 乳幼児連れの人たちがもっと利用しやすいように工夫する。**

● 提言理由・説明

現在のところ授乳室やベビールームもない，幼児が大声をだすと他に迷惑がかかるなど，乳幼児連れの人たちには利用しにくい。トイレも幼児や幼児連れの人にとって利用しにくい。

**エ 車椅子の方々に利用しやすくする。**

● 提言理由・説明

現状の身障者用のトイレは，利用しにくいようである。また，入り口，書架の配置等，車椅子の方々への配慮がないようである。車椅子での利用も見据えて少しずつでも改善が必要である。

**オ 駐車場が足りないので，もっと駐車場を確保するなど，対策を立てる。**

● 提言理由・説明

中央公民館と併設の駐車場のためか，時間によっては，駐車場がない。これでは，気軽に図書館を利用しに来ることができない。

**カ 文化の中心ともなるべく図書館の分館を，川内駅東側の施設に併設する。**

● 提言理由・説明

中央図書館は，駅から離れているため，せめて分館でも駅付近にあれば，通勤通学者も気軽に利用できると思う。

今後駅東口開発計画の中に図書室や情報センターを兼ねた施設を盛り込み，駅周辺の開発と地域の活性化を図ったらどうか。

**キ 読み聞かせコーナーを作る。**

● 提言理由・説明

音読をしても他の人に迷惑のかからない工夫をして欲しい・必要だという声がある。図書館内の配置等の見直し作業を行い，市民のニーズにあった図書館作りを希望する。

**2 運営面の提言**

**ア テーマを決めるなど，もっと利用者に配慮したコーナー作りをする。**

● 提言理由・説明

以前は，“世代別・目的別・季節”のコーナーなどがあり，利用しやすかった。

世代別・目的別・季節などの奨励本のコーナーを作るなどして，市民の興味を引くようなディスプレイをするほうが，利用しやすい。

**イ 特別コーナー（テーマ本など）では，貸し出し中ということが分かる様に，空箱を置くなど工夫する。**

- 提言理由・説明

何の本が貸し出し中なのか，そのコーナーに他にどんな本があるのか，市民に知らせる必要がある。

**ウ 読み聞かせのための研修会や学習会をもっと開催する。**

- 提言理由・説明

ブックスタート事業を引き継ぎ，乳幼児の親も含め，読み聞かせの啓発活動を主導する。

**エ 開館時間・蔵書・職員の対応など市内の読書推進活動の中核として，各分館への働きかけをもっとしていく。**

- 提言理由・説明

図書館サービスの格差が少なくなるように，各分館への働きかけが重要である。

### 3 図書館サービスや集会活動の提言

**ア 幅広い市民への読書活動等の啓発活動，各読書グループの活動紹介などをもっと定期的に，積極的に行い，広報もきちんとする。**

- 提言理由・説明

現状では不十分であるという声がある。読書活動推進の手立てを，もっと工夫して進めて主導してほしい。

**イ 図書館だよりをより充実させる。**

- 提言理由・説明

図書館だよりが時々発行されているようだが，図書館にこない人の目にふれにくいので，より多くの市民に利用してもらうために，もっとアピールする必要がある。

**ウ 利用者アンケートなどを定期的の実施し，市民の声を的確に反映させる。**

- 提言理由・説明

よろん箱は設置されているが，他にも読書グループなどよく利用する人・本をよく借りる人・市政モニターなど，幅広い意見を聞く。さらに，地域格差が少なくなり，各分館のサービスの質も向上するように，実施するべきである。

#### 4 図書館管理運営体制への提言

##### ア 司書が専門業務に専念できるように図書館ボランティアの育成や参加呼びかけ等を積極的に行う。

###### ● 提言理由・説明

図書館からの聞き取りにより，図書館業務の質について，当図書館は，改善の余地があると思われる。今後運営体制を見直す時に，ぜひ考慮していただきたい。

##### イ 図書館運営上，図書館長や運営執行部には，専門家が必要である。

###### ● 提言理由・説明

利用者の目から見ると，このところ図書館内ディスプレイやサービス等，以前と比べて低下していると思われる。安定し，良くなっていく図書館運営のためには，運営執行部や図書館運営協議会の意見を尊重し，積極的に改善をしていくべきだと思われる。

また，県立図書館や鹿児島市立図書館への聞き取り調査により，専門家が必要であることがわかった。

専門家とは，有資格，有経験で図書館運営やサービスについてヴィジョンを持って，本市の中心的な図書館の役割を推進できる人材のことである。

#### 市民ができること

文化の中心である図書館に目を向け，大いに利用し，意見等は積極的によろん箱などで伝えるようにする。

#### 文化・教育施設・事業の充実，生涯学習の活性化について

##### 1 薩摩川内市の規模に合った多目的ホール（文化ホール）を作る。

###### ● 提言理由・説明

老朽化が著しく，駐車場も少ない。現在の文化ホールに替わる，2,000人位収容できる大ホールが欲しい。

##### 2 文化・芸術等イベントを甑島でも随時開催する。

###### ● 提言理由・説明

甑島に住んでいる人々は，生の文化・芸術に触れる機会が少ない。とりわけ，子ども達には，夢や希望，そして感動を育んでほしい。

###### 市民ができること

イベントへの声かけ，参加協力

### **3 コミュニティセンター及び集会所等を多目的に利用できるようにする。**

- 提言理由・説明

以前、宿泊学習施設として活用されていたコミセン（入来八重山地区）が、合併後利用出来なくなっている。地域の活性化，子供育成の観点からしても，再度，見直して欲しい。鹿島地区の小牟田集会所も体験型宿泊施設等に活用できたら，地域活性化につながると思う。

市民ができること

コミュニティセンターを積極的に利用する。

### **4 高齢者の意見が生かされる委員会を設立する。**

- 提言理由・説明

長寿社会に対する自立心を養うために高齢者による高齢者のための委員会を設立する。

委員会においては，生涯学習・ニュースポーツ等の研究・推進を図る。

#### 子育て支援について

#### **1 放課後子どもプランを積極的に推進する。**

- 提言理由・説明

本分科会が市内全小学校保護者を対象に行った結果によると，放課後や週末等，子どもの安全で健やかな活動場所を求める声があった。

しかし，現在，市では具体的な推進対策計画が乏しく，担当部署も明確ではない。

従って，平成21年度の「次世代育成支援対策地域行動計画」見直しに際し，地区コミュニティ協議会および学校との連携方法，担当部署を明確にした上で，より具体的な取り組みをすべきである。

放課後子どもプランの「運営委員会」の設置を行う。

市民ができること

国や市の計画や施策を積極的に知る努力をすること。（アンケートに協力する。広報を読む。）

#### **2 本分科会が行った小学生の放課後の時間の使い方についての実態調査アンケートの結果を，本年度実施予定の子育て支援関係のアンケート作成時に参照するとともに，アンケートの結果を反映させるようにする。（回答率63.4%）**

- 提言理由・説明

アンケート結果は，アンケート協力者はもとより，市民に広く開示して子育てに関連する全ての機関（教育・児童福祉・保健衛生・環境整備など）の現状認識度を向上させ，それぞれが今後の課題と対策を公表する，というレベルまで活用できれば素晴らしい。

らしい。

市民ができること

- 1 アンケート項目や、今後の具体的な取り組み事項に関して、より現場を熟知した人材が参画していくこと。
- 2 アンケートに協力し、広報紙等を読む。

## 市民参画

### 1 市政に対する市民の意識変革を進めるための説明会を実施し、わかりやすいガイドブックやガイドラインを作成し、周知徹底する。

#### ●提言理由・説明

全市の小学生の保護者に「放課後の過ごし方」について、アンケート調査を行なったところ、行政に対する依存度が大きく要望事項もかなりあった。しかし、市の状況説明によると実現不可能な要望が多いということがわかった。

そこで、現在の行政のあり方、財政状況等をもっと市民に理解してもらい、自分達で出来る事を行なっていくためのガイドラインが必要である。その為には各地区コミュニティ協議会と連携し、市民協働型・市民参加型に移行できるためのアプローチが必要である。

市民ができること

児童クラブ等、要望事項があれば市民も勉強し、働きかけることが必要。「市がしてくれない」、「誰かがしてくれるだろう」との意識を排除し、「出来ることを協力して、いいまちにしよう」という気持ちを持ち、市や地域の取り組みに参加すべきである。

### 2 男女共同参画をより推進していくために、女性が市政について考え、学ぶことのできる場を今後も企画・運営していく。

#### ●提言理由・説明

今回、50人委員会に参加して、ようやく行政の一部や市政のあり方について少し学ぶことができた。このような機会は、今回限りでなく今後も続けることによって、女性参画の増加につながるのではないかと。

市民ができること

広報紙等にきちんと目を通し、興味・関心を持った事には積極的に参加していく。

## 薩摩川内市女性 50 人委員会 共通事項

各分科会での議論の中で、担当分科会のテーマでない事項及び、他分科会の事項に関連のある事項について提言します。

< 提言 >

### I 共通事項について

#### 1 広報紙を読みやすくする。

- 提言理由・説明

広報紙が読み易くなればよい。活字を大きく、イラスト等で親しみやすく、読みやすくして欲しい。

イベント情報をいち早く知らせてほしい。

#### 2 窓口対応に、専門的な知識や経験を持つ人材を常駐させる。

- 提言理由・説明

今回、放課後児童クラブについて調査・確認作業をする際に大変手間取ったので、担当部署を明確にしてほしい。

#### 3 防災無線をより多目的に活用する方策を検討する。

- 提言理由・説明

市政への関心を促す手立てとして、防災無線を有効利用し、広報の仕方を工夫する。

市民ができること

市政に関心を持ち、知ることによって市民としてやるべきこと、やることを判断し、行政のできる分野にも理解を示し、積極的に参加する。

#### 4 甑島・本土との市民の交流の促進のため、「川内・甑島間」の乗船券が安くなるような方策を工夫する。

- 提言理由・説明

- ・例えば、割引券・回数券割引等、利用回数が多いほど安くなる。

- ・女性 50 人委員会で甑島を視察研修に参加し、交通費の負担の大きさに驚いた。

- ・補助することで利用が増え、市民交流が盛んになる。

- ・合併によるメリットを活かし、旧川内市と甑島の行き来を増やすことは薩摩川内市の発展に寄与する。

市民ができること

- ・家族・友達との旅行、職場研修視察、スポーツ交流、各分野の研修会や学習会等を実施し、甑島を活用して計画する。